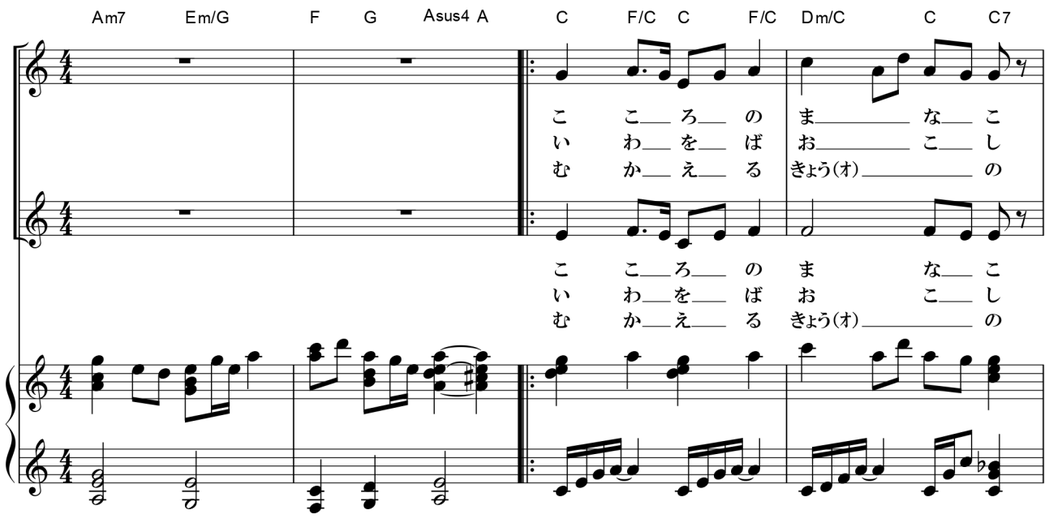
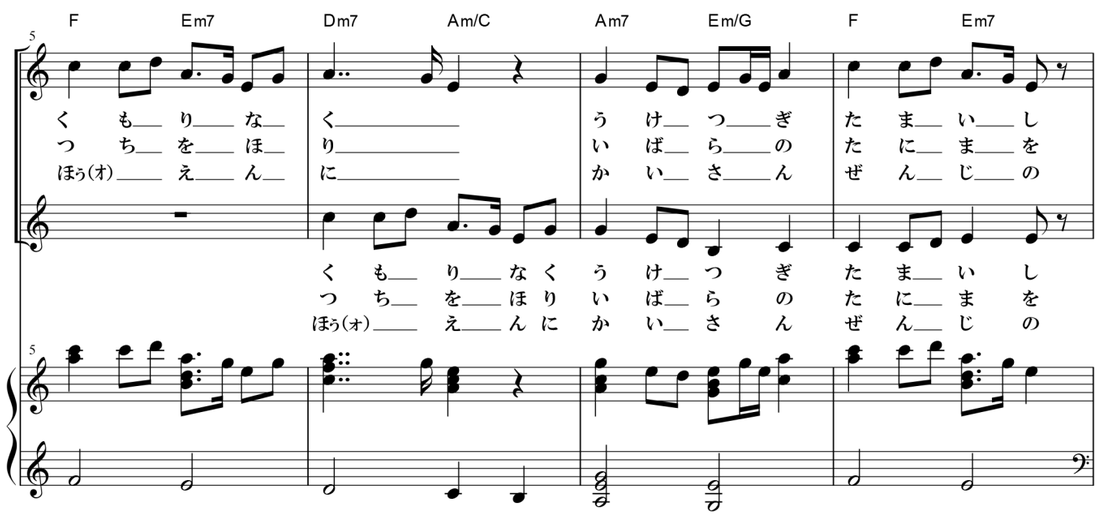
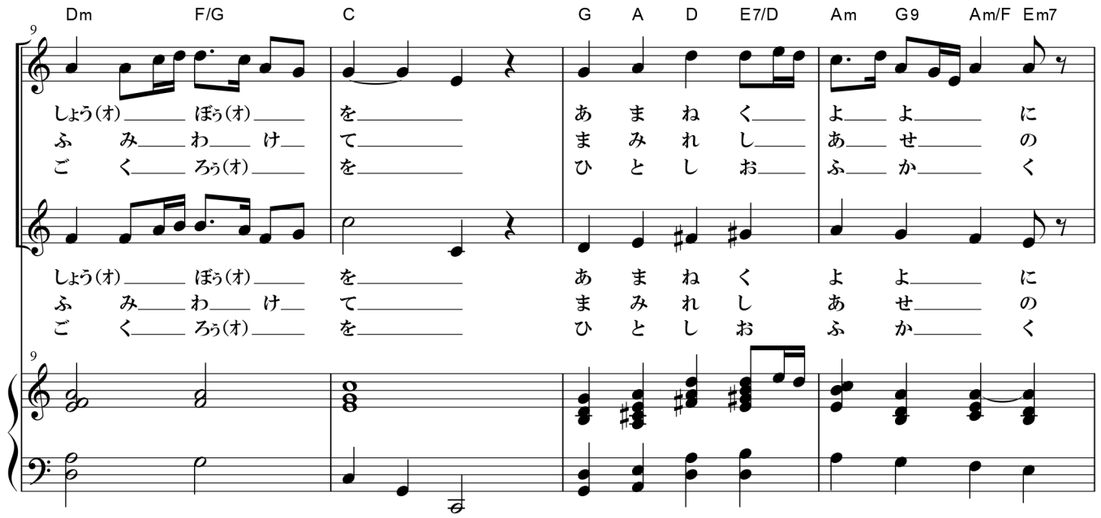
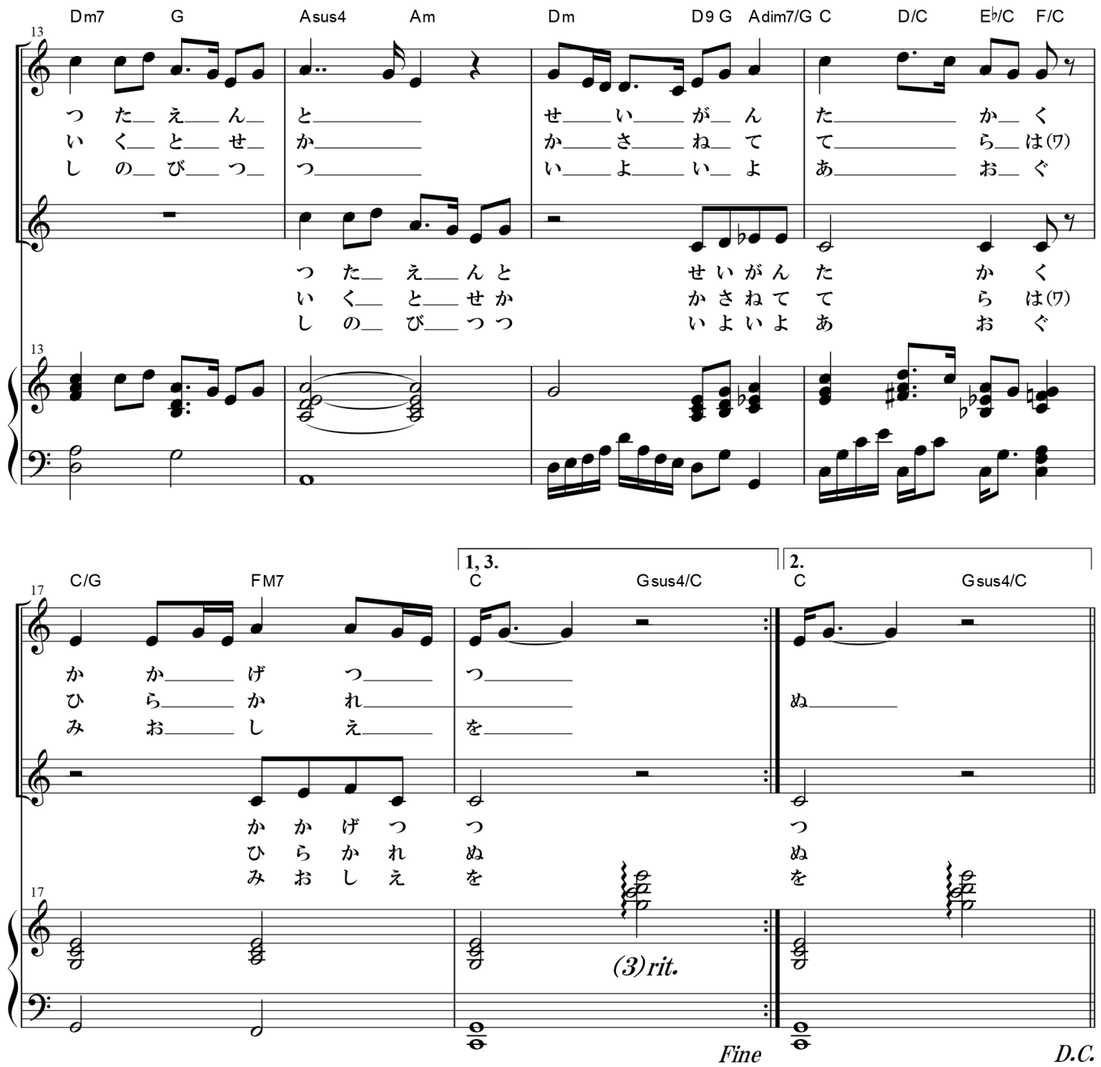
開山忌御和讃

作詞　赤松　月船
作曲　安田　博道
編曲　平林　龍

（一）
心の眼くもりなく
承け継ぎたまいし正法を
あまねく世々に伝えんと
誓願高くかかげつつ

（二）
岩をば起し土を掘り
荊棘の谷間を踏み分けて
塗れし汗の幾年か
重ねて精舎は開かれぬ

（三）
迎える今日の法筵に
開山禅師の御苦労を
一入深く偲びつつ
いよいよ仰ぐ御示教を